

様式第5号

出張調査報告書

平成25年9月/8日

松伏町議会議長 渡辺忠夫様

会派名 町民クラブ

代表者氏名 鈴木 勝



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成25年8月8日から平成25年8月9日
2 視 察 地	(1) 熊本県宇城市 (2) 熊本県山鹿市
3 視 察 目 的	(1) 不知火美術館を中心とした文化振興 (2) 歌舞伎小屋 八千代座 修復で町おこし
4 視 察 者 氏 名	鈴木 勝 堀 越 利 雄 長谷川 真 也
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

## 平成25年度松伏町「町民クラブ」視察報告書

日程 平成25年8月8日 熊本県宇城市

平成25年8月9日 熊本県山鹿市

参加者 鈴木 勝 ・ 堀越 利雄 ・ 長谷川真也

### 視察テーマ

宇城市 「不知火美術館を中心とした文化振興」

山鹿市 「歌舞伎小屋 八千代座 修復で町おこし」

### 視察報告 (宇城市)

美術館館長 正村氏をはじめ文化振興課主事 能満氏、議会事務局 野田氏の説明を受けた。

宇城市は平成15年に5町が合併して宇城市となった。「不知火美術館」は合併前の不知火町の時代に作られ、当時の人口は9,200人ほどであった。平成10年2月に着工、平成11年4月にオープンした。総工事費は11億1300万円であった。当時の町の予算に対する美術館のしめる割合を聞いたが、残念ながら今回の説明員の中には当時の不知火町出身の職員が無く、設立当時の予算に関する疑問には十分答えてもらえなかった。しかし、設立当時は当時の県知事であった細川護熙氏の力が働いたことは確かである。

### 建設経緯

不知火町からは多くの画家（故マナブ間部画伯・故野田英夫画伯など）が輩出されており、これらの作品を展示する機運がたかまった。（先人の残した文化遺産を後世に伝えながら町民に親しまれ、気軽に利用され、人が文化を運ぶような出会いの場、ふれあいの場として育っていくよう願って設立された）美術館は図書館と併設され、同じ敷地内には温水プール・広場が作られている。気軽に立ち入ることができ、利用率が高い。

しかし、常設展示のみではリピーターが来ないので、年4回の特別展が開かれている。

### 展示の工夫

美術館運営には12,699,000円が予算化されているが十分な予算ではない。美術館の利用率を高めるためには先に記した特別展を年4回行っているが他の美術館より美術品を借り受けるときは美術品専門会社の運送会社の空きスペースなどを利用して運送していただいている。また、地域のひとに美術館に来ていただくよう小学校・中学校の美術展示を積極的に行っており、本格的な美術館に展示されることによって、子どもたちも喜んでいるとの事である。

## 視察報告 (山鹿市) 八千代座復活で町おこし

### 八千代座復活の経緯

江戸時代の歌舞伎劇場の様式を今に伝える貴重な建物であるために、昭和63年に国の重要文化財に指定された。平成に入り平成8年から5年かけ修繕費5億円かけ大正12年ころの鮮やかな姿に復元された。中を見学させていただくと腐った床の修復はなるべく元の材木を利用し、腐った部分は新材を埋める技法をとるが、木目までを一致させる精密さである。

修復にあたっては瓦1枚(8100円)運動を展開し、さらに大口寄付も含め1億円の寄付が集まった。江戸時代の建設にも当時の旦那衆が金を出し合って建てた建物であり、寄付の文化が根づいている感じがした。

### 運営

運営は振興公社に1400万円の補助が出されている。旅先案内が置かれて、施設の修復の案内がされる。施設の見学のみで年間4万人(1人520円)が来場するとの事である。

しかし、八千代座は見学者のみの為に復活させたわけではない、「活きた芝居小屋」として修復させた。「保存」と「活用」が最大の課題である。

ですから、現在も多く現役役者がこの歌舞伎小屋を利用している。坂東玉三郎さんは、客との距離の近いこの歌舞伎小屋を利用し新作を試し、その後大都市での公演に挑むとの事であった。

また、地域に根ざすために「こども歌舞伎教室」「こども狂言教室」なども運営されている。

また、利用率を高めることも必要であり、優秀映画鑑賞会などが行われているが、会が主催するもので、誰にでも貸し出しできるシステムは取っておらず、品格の落ちる事を避けている。

### 今回の視察を終えて

松伏町は現在、音楽で町おこしを行っている。この音楽と美術・歌舞伎を比較してみると音楽は全国大会などがあり、一部の部門では成果が表れるが、美術・歌舞伎などは全国大会などはなく、数字として成果を表すことが出来ないだけ大変である。

しかし、美術館・歌舞伎小屋などを持っていることが市民が市外にでたとき、胸の誇れる財産であることが証明される。文化の維持には町の強い施政方針が必要であることを感じさせられた。

## 町民クラブ行政視察

代表 鈴木 勝 堀越 利雄 長谷川 真也

平成 25 年 8 月 8 日～9 日

熊本県宇城市 熊本市山鹿市

### スケジュール

8/8 (木)

新越谷 8:19～北千住 8:35～仲御徒町 8:51 御徒町 8:57～

浜松町 9:09～羽田空港 9:36

JAL1805 便 10:25～12:05 阿蘇熊本空港

昼食移動 (レンタカー) にて熊本県宇城市 14:30 行政視察

16:00 市内視察をしながら熊本市移動

宿泊ホテルニューオータニ熊本

熊本県熊本市西区春日 1-13-1 TEL096-326-1111

8/9 (金)

熊本市山鹿市 10:30～行政視察 12:00

12:00 昼食 13:00～17:00 市内視察しながら熊本空港に移動

JAL1816 18:05～19:45 羽田空港

羽田空港 20:00～新越谷 21:16